

交通事故ゼロに向けた現地点検 ～PDCAの観点で実施しました～

この度、静岡国道事務所、浜松河川国道事務所及び沼津河川国道事務所は、平成24年11月28日(水)に国道1号(掛川市内・藤枝市内)で事故ゼロプラン※の取り組みとして、交通事故危険区間の「現地点検」を実施しました。

この現地点検において、地元関係者、学識者、静岡県警察等関係機関が合同で現地にて現状を共有し、今後の対策内容について意見交換を行いました。

※静岡県の事故ゼロプランは下記のアドレスをご参照下さい。

http://www.cbr.mlit.go.jp/road/michirepo/pdf/jiko0_shizuoka1.pdf

〈現地点検〉

概要 : 交通事故危険区間における現地点検

日時 : 平成24年11月28日(水) 10:40～16:00

- ① 掛川市内(同心橋東交差点)
追突に関係する事故が多く発生している交差点
- ② 藤枝市内(青木交差点・廻沢口交差点)
事故対策後の事故件数が増加している交差点

参加者: 静岡国道事務所、浜松河川国道事務所、沼津河川国道事務所
静岡県警察、静岡県、静岡市、浜松市、藤枝市、掛川市
地元区長、町内会長、交通安全協会、トラック協会、学識者
Nexco中日本等
※約60名が参加しました。



現地点検状況写真



藤枝市内: 青木交差点



掛川市内: 同心橋東交差点

〈PDCAとは〉

PDCAとは、Plan(対策検討) Do(対策実施) Check(効果評価) Action(追加対策検討)の頭文字を取ったもので、事故データ、地域住民の声及び現地調査の結果等から、PDCAの流れで事故対策を実施するものです。
継続的に交通事故の状況を把握し、PDCAを繰り返し実施していくことが交通事故の防止に繋がると考えております。

【PDCAのイメージ】

